



日文は教科「情報」をサポートします。

📖 日本文教出版Webサイト

教科書・副教材の関連データをはじめ、機関誌のバックナンバーなどをWeb上で提供しています。

●「情報」教科書・指導書

年間指導計画例、シラバス・評価規準などの教科書関連情報のほか、指導書に関する情報を掲載しています。

●副教材

教科書準拠教材「情報のノート」や情報最新トピック集などの副教材を紹介しています。

●メールマガジン、機関誌・教育情報

教科「情報」メールの配信をご希望の場合は、こちらの登録フォームよりお申込みください。また、機関紙や教育情報コーナーでは、バックナンバーをはじめ、授業に役立つコンテンツを掲載しています。

✉ 教科「情報」メール

関連ニュースや研究会情報などを月に1回配信。配信のご登録は右記のQRコードまたはURLからお願いいたします。



https://www.nichibun-g.co.jp/textbooks/joho/joho_mail/

📖 教授用資料 Scratchとドリトルではじめるプログラミング ～6STEPでプログラムの基礎がわかる～

プログラミング言語「Scratch」と「ドリトル」を用いた実習で活用するための教授用資料です。弊社Webサイトにも掲載しています。

Design / Keiko Okada (ok design) Photo / Makoto Shima

<https://www.nichibun-g.co.jp/textbooks/joho/>



平成29年(2017年)度版高等学校情報科内容解説資料

116
日文 教科書 記号・番号

新・見てわかる社会と情報 社情317

平成28年(2016年)4月10日発行
本書の無断転載・複製を禁じます。

CD22149

日本文教出版 株式会社

<http://www.nichibun-g.co.jp/>

東京本社 〒165-0026 東京都中野区新井1-2-16
TEL:03-3389-4611 FAX:03-3389-4618
大阪本社 〒558-0041 大阪市住吉区南住吉4-7-5
TEL:06-6692-1261 FAX:06-6606-5171
九州支社 〒810-0022 福岡市中央区薬院3-11-14
TEL:092-531-7696 FAX:092-521-3938
東海支社 〒461-0004 名古屋市東区葵1-13-18・B
TEL:052-979-7260 FAX:052-979-7261
北海道出張所 〒001-0909 札幌市北区新琴似9-12-1-1
TEL:011-764-1201 FAX:011-764-0690

新・見てわかる 社会と情報

2019～2021年度用 内容解説資料

本資料は内容解説資料として、一般社団法人教科書協会「教科書発行者行動規範」に則っております。



日文の教科書情報

詳しくはWebへ!

📖 日本文教出版

もっと「見てわかる」を目指して、
学習内容や生徒の活動がイメージできる教科書

- point I 親しみやすく，直感的に「見てわかる」。
- point II 丁寧でわかりやすい説明と，
バリエーション豊富な実習。
- point III 多様な学習活動・授業場面をアシストする。

著者からのメッセージ

伝えたいことは厳選し，だけど手厚く。
これが今回の編集方針です。本書は，学
習事項をイラストで表現し，文字通り
「見てわかる」画期的な教科書です。た
とえば，イラストを見て，考えたことや
意見を生徒どうして話し合う活動を取り
入れることで，授業は主体的な学びの場

に変わります。実習も丁寧な解説を加
え，コンピュータの活用から問題解決の
手法まで，多様な情報活用能力を育てる
ことができるように設計されています。
自分の将来のことに密接に関わる「情
報」だからこそ，「わかったつもりで終
わらせない」ことを目指しました。

放送大学 教授 中川一史



新・見てわかる 社会と情報

- 第1章 情報社会に生きるわたしたち
- 第2章 コンピュータを使いこなそう
- 第3章 情報を整理して伝えよう
- 第4章 情報社会の課題について考えよう
- 第5章 情報社会のしくみを知ろう

社情317

「情報」教科書一覧 ※p.2の各教科書については別途，内容解説資料をご用意しています。p.3の教科書については「平成25～28年度用内容解説資料」にて解説しています。

教科書としてのスタンダードを目指して

新・社会と情報



社情316

「難しい」をできるだけわかりやすく

新・情報の科学



情科310

資料集のように使える
丁寧な記述

社会と情報



社情306

多彩なイラストで
生徒の関心を高める

見てわかる社会と情報



社情307

幅広い情報の世界を
正確に，丁寧に

情報の科学



情科305

I 親しみやすく，直感的に「見てわかる」。

生徒の主体的な学びをサポートする個性的な教科書

本書は、コンパクトな本文とわかりやすいイラストでまとめられた「本編」を中心に、作品制作や「主体的・対話的で深い学び」を促す「実習」、各章での学習を振り返る「まとめ・章末問題」、実習やキャリア教育との関連を意識した「巻頭・巻末資料」など、さまざまな学習ニーズに対応しています。また、他教科の学習や社会に出てからも役立つ各種ソフトウェアの「操作解説」も充実しています。

本編

本書は、1年間の授業計画を意識した5章構成です。情報を学ぶ意義や情報モラルを確認し(1章)、各種ソフトウェアを使った情報活用力を身につけ(2章・3章)、情報社会の課題や情報技術のしくみを学ぶ(4章・5章)ステップアップ型の展開です。



本文イラスト

本文の直下に配置した本文イラストは、本書の新たな試みです。メインキャラクターの会話を通して、身近なものや経験と結びつけたり、問いを投げかけたりしています。生徒が学習に入っていくための導入の役割を担っています。

イラスト・図解

本編は、本文を3行にまとめ、その分イラストや図解のスペースを大胆に取っているのが特徴です。複雑な情報技術のしくみも、わかりやすい図解で生徒の理解をうながします。さらに、イラストの内容を生徒が説明したり整理したりすることで、主体的な学びを喚起します。

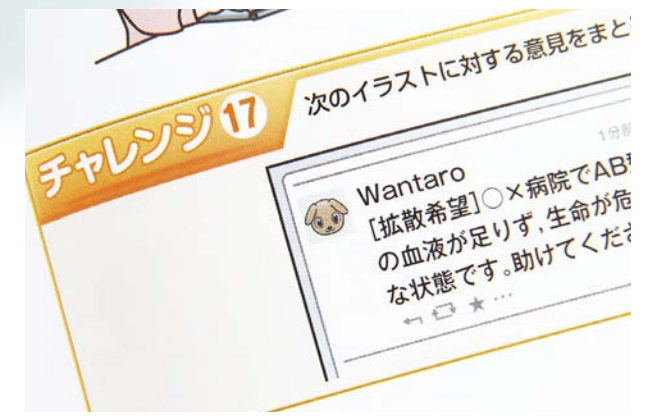


パラパラ漫画と2進法のページ番号

生徒にとって理解が難しい情報のデジタル化を楽しく学べるしくみとして、パラパラ漫画を設け、ページ番号も2進法で併記しています。パラパラ漫画は、東京2020オリンピック・パラリンピックを意識し、それぞれの教科書で異なるスポーツ競技を題材にしています。

チャレンジ

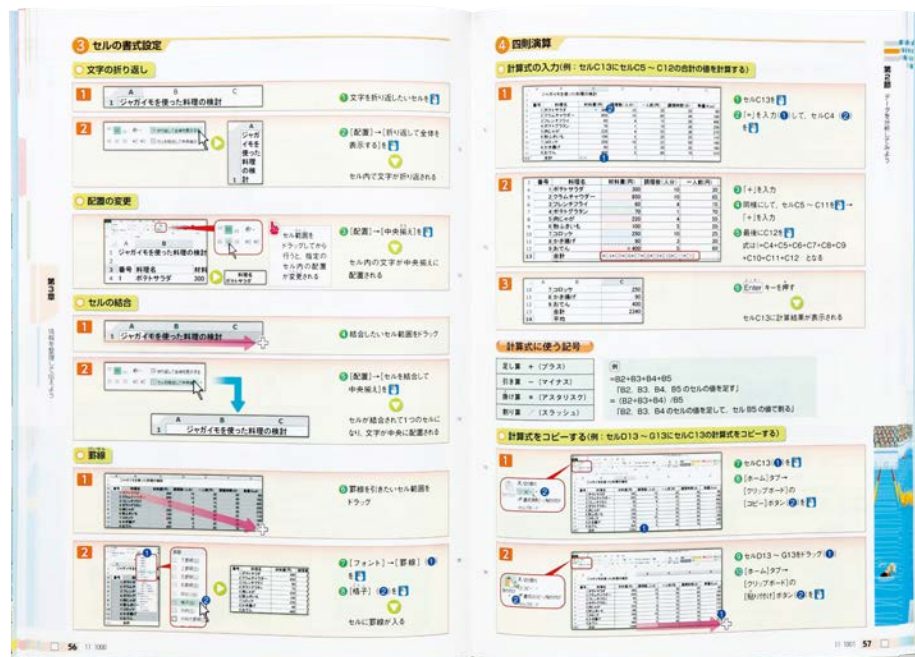
右下にあるチャレンジでは、学習内容を確認できるミニ実習や練習問題を提示しました。授業のまとめや前時の振り返り、課題として取り組ませることで、技術や知識の定着をはかり、学習事項のさらなる理解につなげます。



II 丁寧でわかりやすい説明と、バリエーション豊富な実習。

操作解説

実習



ユーザビリティに配慮した画期的なレイアウト

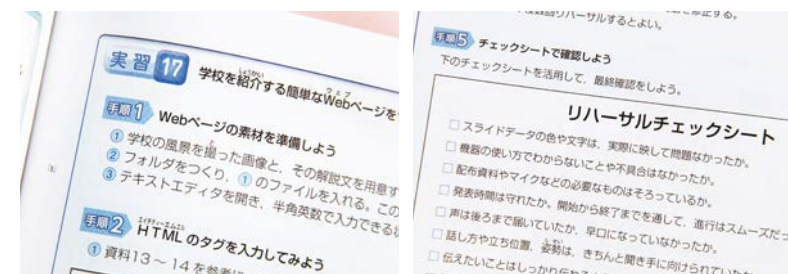
2章、3章にあるソフトウェアの操作解説では、実際のソフトウェアの操作画面を左に配置し、マウスの動きも番号や矢印などで示しました。文字で説明されたひとつひとつの操作手順を読まなくても、視線を上から下へ一直線に動かせば、戸惑うことなく目的の操作を進められるようになっています。

生徒の活動がイメージできる多彩な実習

各節の学習内容に合わせた実習のページを設けています。コンピュータを活用した作品づくりや「ジグソー法」を取り入れた魅力的な活動を提案しています。実習を通して、技術だけでなく、思考力、判断力、表現力も総合的に育てます。



ソフトウェアのおもなタブやボタンの機能を総覧したページや、作品の制作で知っておくとよい用語解説、アドバイスも充実しています。



実習では各手順をスモールステップで示したほか、一部はワークシートとしても活用できるようなデザインになっています。こうすることで、生徒が具体的な活動をイメージしやすくなっています。

2 暗号化対策

暗号化

暗号化は、データを一定の規則で組み替え、第三者にその内容がわからないようにする技術のことである。情報を送信する側で暗号鍵を使って暗号化し、受信する側で暗号鍵を使って復号することで、もとの情報である平文に戻すことができる。

どうして暗号化が必要なの？



暗号化した情報が盗まれても漏洩はしないでしょ？

共通鍵暗号方式 (情報を送信する側と受信する側で同じ鍵を使う方式)

例 2文字次の文字にすらすという鍵



鍵は共通だから、鍵が盗まれたら情報が解読されてしまうね。



公開鍵暗号方式 (公開する暗号鍵 (公開鍵) と秘密の暗号鍵 (秘密鍵) を使う方式)



情報が盗まれても、秘密鍵がなければ復号できないね。



暗号化対策

データ通信をする際、情報が漏洩したり、傍受されてしまう危険がつねにともなう。重要な情報を送信するときには、必ず暗号化が必要である。さらには、SSLの利用や無線LAN (→p.138)の暗号化設定などの対策もする必要がある。

無線LANによる通信は電波だから、傍受されやすいんだ。



通信も暗号化すれば、より安心だね。

SSL



SSLでないサイトで個人情報を送ったらいへんだね！

無線LANの暗号化設定



重要なデータの保管・送信には必ず暗号化が必要なんだね。



暗号化されてる？

チャレンジ 19 隣の人と共通鍵暗号方式で通信をしてみよう。暗号鍵を決めて、英単語など、アルファベットだけの暗号化した文字列を書いた紙を交換し、復号してみよう。

1

B5変型判の採用

本書は、通常のB5判よりも横方向に5mm長い判型を採用しています。レイアウトにゆとりができたため、情報量はそのまま、すっきりした印象の紙面になりました。

3

文節改行

単語や文節の途中で改行が入ると、意味を取りにくいことがあることから、本文はもちろん、吹き出しの中の話についても、改行位置を細かく調節しています。

2

ルビと脚注

中学生以上で学習する漢字とアルファベット表記には、見開きの初出箇所にルビを振りしました。また、「SSL」など、英語の頭字語は脚注で元の綴りを記載しています。

4

読者に配慮した色合い

全体をバステル調の淡いトーンに統一し、見た目の印象もやさしいものになるようデザインしています。また、カラーユニバーサルデザインへの配慮も行っています。

表紙のコンセプト



教科書に登場するキャラクターが、スマートフォンやコンピュータを活用している場面を、明るく前向きなイメージで描いています。学びというものは堅苦しいものではなく、高校生の「いま」に密接な関わりがあること、情報での学びが「これから」の人生を豊かにすることを伝えたいと考え、あえて漫画的な表現を採用しています。

コンセプトはそのままに、さらに「見てわかる」を追究

デザイナーからのメッセージ

本書は、読者の視線の動きを意識し、イラストや図が情報のまとまりとして自然と認識できるデザインを心がけています。また、全体を淡い色合いでまとめ、やさしい印象を持たせました。イラストはその性格によって2種類のタッチを使い分けています。メイン

ユニックス
瀬能優実氏



キャラクターの2人は等身大の高校生をイメージし、ほぼすべてのカットでポーズや表情を変えています。描いているうちに、わたしも彼女たちに感情移入してしまいました。この教科書を使う高校生の方たちも、友だちのような感覚で接してもらえると嬉しいです。

年間指導計画例

A 基本的な年間指導計画例

| 月 | 章 | 節 | 配当時間 | 学習の目標 |
|------|-----|--------------------------|------|---|
| 4月 | 第1章 | 第1節 情報を活用しよう | 1~2 | <ul style="list-style-type: none"> 情報社会に関心を持ち、自らの情報活用能力を高めようとする態度を養おう。 コンピュータを活用することで、仕事や生活がよりよくなることを理解しよう。 |
| | | 第2節 情報モラルを身につけよう | 2 | <ul style="list-style-type: none"> スマートフォンなどを利用する上で必要なルールやマナー、注意点を理解しよう。 情報を発信するときに必要な送り手としての責任を理解し、他人を傷つけないようにしよう。 |
| 5月 | 第2章 | 第1節 コンピュータを使ってみよう | 3~5 | <ul style="list-style-type: none"> 情報機器の特徴とはたらきについて理解しよう。 情報機器の基本操作を確認しよう。 |
| | | 第2節 文書を作成してみよう | 5 | <ul style="list-style-type: none"> 文書などを作成する際に配慮しなければならないことを理解しよう。 文書処理ソフトウェアを使った文書作成の方法を習得しよう。 |
| 6~7月 | 第3章 | 第1節 問題解決をしてみよう | 2~3 | <ul style="list-style-type: none"> 問題の本質は何であるかを知り、問題を解決する手順と方法を理解しよう。 実際に自ら問題を発見し、さまざまな情報を分析して解決策を考えよう。 |
| | | 第2節 データを分析してみよう | 6 | <ul style="list-style-type: none"> 表計算ソフトウェアを活用した情報の分析の方法を習得しよう。 データを分析する手段や注意点を知ろう。 |
| | | 第3節 情報をわかりやすく伝えよう | 8 | <ul style="list-style-type: none"> 効果的に情報を伝えるために発信の手順や方法を学ぼう。 プレゼンテーションソフトウェアを活用した情報発信の方法を習得しよう。 |
| 10月 | 第4章 | 第1節 情報化が社会に及ぼす影響と課題 | 4~6 | <ul style="list-style-type: none"> 情報化が社会に及ぼす影響と課題を理解しよう。 望ましい情報社会のあり方と情報技術を適切に活用することの必要性を理解しよう。 |
| | | 第2節 情報セキュリティの確保 | 4~6 | <ul style="list-style-type: none"> 情報セキュリティを高めるためのさまざまな方法を理解しよう。 技術的な方法だけでなく、利用者の意識の向上が必要であることを理解しよう。 |
| | | 第3節 情報社会における法と個人の責任 | 4~5 | <ul style="list-style-type: none"> 社会の中で多くの情報が公開され、流通されていることを理解しよう。 情報や権利を保護することの必要性とそのための法律、個人の責任を理解しよう。 |
| 1月 | 第5章 | 第1節 情報通信ネットワークとコミュニケーション | 4~5 | <ul style="list-style-type: none"> 情報の特徴とメディアの意味、コミュニケーション手段の発達について理解しよう。 情報通信ネットワークの特性を理解し、効果的なコミュニケーションの方法を習得しよう。 |
| | | 第2節 情報のデジタル化 | 5~7 | <ul style="list-style-type: none"> 情報のデジタル化の基礎的な知識を理解しよう。 デジタル化された情報は統合的に扱うことができることを理解しよう。 |
| | | 第3節 情報通信ネットワークのしくみ | 4~5 | <ul style="list-style-type: none"> 情報通信ネットワークの基本的なしくみを理解しよう。 Webページや電子メールがどのようなしくみになっているのか理解しよう。 |
| | | 第4節 望ましい情報社会を築く | 4~5 | <ul style="list-style-type: none"> 情報システムの種類や特徴を知り、社会生活での役割と影響を理解しよう。 情報システムに関する意見を提案・集約し、情報社会の一員としての意識を高めよう。 |

56~70

B 実習を重視した年間指導計画例

| 月 | 章 | 節 | 学習事項 | ページ | 配当時間 |
|--------|-----|-------------------------------------|------------------------------------|------------------------|------|
| 4月 | 第1章 | 第1節 「情報」やコンピュータについて学ぶ意義 | | p.6-8 | 1 |
| | | 実習1 コンピュータの操作スキルを自己評価してみよう | | p.9 | 1 |
| 5月 | 第2章 | 第2節 情報モラル | 実習2 自分の情報モラルに対する理解度を確認してみよう | p.10-14 | 2 |
| | | | 実習3 コンピュータを起動して文字を入力してみよう | p.15 | 1~2 |
| | | 第1節 コンピュータや情報機器の基本的なしくみと使い方 | | p.22-26 | 1 |
| 6~7月 | 第2章 | 第2節 他人の著作物の取り扱い | 実習3 コンピュータを起動して文字を入力してみよう | p.27 | 1 |
| | | | データを保存するときの注意点 | p.28-31 | 1 |
| | | 実習 文書処理ソフトウェアの使い方(実習4, 実習5を含む) | p.32-33 | 1 | |
| 9月 | 第3章 | 第1節 問題解決の手順 | 実習 文書処理ソフトウェアの使い方(実習4, 実習5を含む) | p.34-41 | 4~5 |
| | | | 実習6 問題を明らかにするために、文章で書き出してみよう | p.48, p.50-53, p.64-65 | 2 |
| | | 第2節 表計算ソフトウェアの使い方(実習7, 実習8, 実習9を含む) | p.49 | 1~2 | |
| 10月 | 第4章 | 第2節 プレゼンテーションの方法 | 実習 表計算ソフトウェアの使い方(実習7, 実習8, 実習9を含む) | p.54-63 | 5 |
| | | | 実習10 プレゼンテーションの準備をしよう | p.66-67 | 1 |
| | | 実習 プレゼンテーションソフトウェアの使い方 | p.68 | 1~2 | |
| 11~12月 | 第3章 | 第3節 個人情報とプライバシー | 実習11 リハーサルを行おう | p.69-75 | 5~6 |
| | | | 知的財産権の保護と活用 | p.76 | 2 |
| | | 実習12 SNSを利用した犯罪に巻き込まれないために | p.77 | 3~4 | |
| 1月 | 第4章 | 第1節 情報社会の光と影 | 実習13 安全で便利な緊急連絡のしくみをつくろう | p.84-92 | 1 |
| | | | 実習14 わたしたちの何気ない行為と著作権について考えよう | p.93 | 1~2 |
| | | 第2節 情報セキュリティ対策 | | p.94-100 | 1 |
| | | 第3節 個人情報とプライバシー | | p.101 | 1~2 |
| 2~3月 | 第5章 | 第1節 情報とメディア | 知的財産権の保護と活用 | p.102-105 | 1 |
| | | | 実習15 広告を分析してみよう | p.106-110 | 1~2 |
| | | 第2節 デジタル化 | | p.111 | 1~2 |
| | | 第3節 情報通信ネットワークのしくみ | | p.120-122 | 1 |
| 1月 | 第2章 | 第2節 デジタル化 | 実習16 学校紹介動画をつくろう | p.123 | 1~2 |
| | | | 実習17 学校を紹介する簡単なWebページをつくってみよう | p.124-129 | 1 |
| | | 第3節 情報通信ネットワークのしくみ | | p.130-136 | 2 |
| 2~3月 | 第3章 | 第3節 情報通信ネットワークのしくみ | 実習18 情報システムの課題について考えよう | p.137 | 2~5 |
| | | | 実習19 学校を紹介する簡単なWebページをつくってみよう | p.138-142, p.144-145 | 2 |
| 2~3月 | 第4章 | 第4節 情報システム | 実習17 学校を紹介する簡単なWebページをつくってみよう | p.143 | 4 |
| | | | 実習18 情報システムの課題について考えよう | p.146-152 | 1 |
| 2~3月 | 第4章 | 第4節 情報システム | 実習18 情報システムの課題について考えよう | p.153 | 2 |

合計 56~70
実習 36~49

観点別特色一覧 —ご検討時にご覧いただきたい観点—

新・見てわかる社会と情報 / 116・日文 / 社情・317

1 内容（特色のある教材や記述）

- 解説の大半がイラストで示されていて視覚的に理解できる。
- ソフトウェアの操作は、基礎的な内容を題材としていて、生徒の習熟度のばらつきに対応できる。
- 巻頭資料と1章冒頭で、情報科で学ぶ内容が生徒にどのように役立つかが職業との関連で示されていて、学習への動機づけに役立つ。
- 巻頭・巻末は問題解決とソフトウェアの操作実習を補う、充実した資料で構成されている。

2 構成（特徴のある単元の組織・配列）

- 情報モラルに関連する内容が1章にあり、授業の導入として利用しやすい。
- 前半の実習を通して学習意欲を高め、後半の情報技術のしくみ等の学習につなげることができる。
- 教材の配列に学校行事等への配慮が見られ、年間指導計画を立てやすい。
- 用語の意味などは章末にまとめられており、イラストでの理解を補うことができる。
- 章末問題に取り組むことで、理解度を確認することができる。

3 分量（教材の分量や詳しさのバランス）

- 3行の本文とイラストで、生徒は楽しく無理なく学習に取り組むことができる。
- ソフトウェアの操作解説は十分なページ数で丁寧に手順が示されている。目標設定も適切である。
- 情報モラルに係る内容は、1章を中心として全体的に充実している。
- 扱われる学習内容は基礎的なものを中心だが、イラストで表現されているため資料性も高い。
- 学習内容のバランスがよく、1年間で学習を終えられる適切な分量である。

4 表記・表現（使用上の便宜）

- 本文とイラスト間のキャラクターのやり取りは、学習内容が生徒の身近な事柄であることを意識できる。
- アルファベット表記の用語や教育外漢字にはルビが振られているほか、用語の途中での改行がなく、読みやすさに最大限の配慮がある。
- キャラクターのセリフやイラストを見るポイントなどが無理なく理解できるレイアウトである。
- ローマ字や記号の入力に支障が出ないよう、巻末の折り込みページに資料を示し、実習中にどのページを開いても参照できるようになっている。

5 創意工夫（学習の動機づけ等の工夫）

- ページ番号の脇に2進表現が併記され、基数変換の理解を助けることができる。
- 見開き右下に示されたパラパラ漫画は、動画のしくみの理解を助けることができる。
- 章末の漫画コラムは、情報モラルを中心として章の学習内容と関連する内容で、生徒どうしの話し合い活動にも活用できる。
- 法律の解説は条文をそのまま載せるのではなく、イラストで図解されていてわかりやすい。

6 学習の深まり（他教科、総合的な学習の時間との関連等）

- 見開き右下の「チャレンジ」は生徒の思考をうながす問いかけになっていて、学習の振り返りや自学自習の課題としても活用できる。
- 実習12のジグソー法を参考にした具体的な実習手順は、生徒の「主体的・対話的で深い学び」を促す内容で、新学習指導要領を先取りした指導にも広げられる。
- 巻頭にまとめられた「アイディアの発想と整理」「資料の収集」「データの分析」「レポートのまとめ方」「プレゼンテーション」などの資料、及び3章「問題解決」での経験を通して身につけた情報活用の実践力は、他教科や「総合的な学習の時間」での学び、卒業後の進路においても役立つ。

7 学習環境への配慮（学校の独自性への配慮）

- ソフトウェアの操作を解説するページでは、具体的な画面が掲載されていてわかりやすい。
- 特殊なソフトウェアの利用が想定される実習はない。
- 実習で必要になる各種データや成果物の完成例ファイルは、教授資料等でサポートされている。

8 その他（その他の全体的特徴、周辺教材の状況）

- 全ページ4色刷りでカラーユニバーサルデザインにも配慮されており、印刷も鮮明である。
- 長期間の使用に耐えられるよう表紙は丈夫で防水性もあり、製本も堅牢である。
- 環境への配慮から再生紙と植物油インキが使用されている。
- 教科書での指導を支援する教授資料や周辺教材が充実している。
- 教授資料には教科書のデジタルデータが添付されているため、必要に応じて加工するなどして便利に活用できる。